

【薄型テレビの普及率】

44.3%

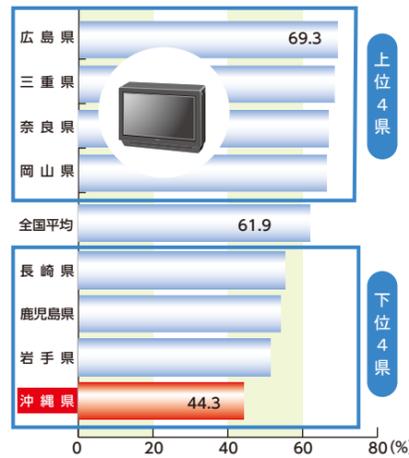
「デジタル三種の神器」とよばれる薄型テレビ、デジタルカメラ、DVDレコーダー。かつて、ブラウン管で家の中のスペースをとっていたテレビも、今では、液晶やプラズマ画面ですっきり薄型になってきた。

総務省「2009年全国消費実態調査」によると沖縄県内の薄型テレビの普及率は、44.3%と全国で最も低く、最も高い広島県の約3分の2の水準だ。

テレビは、買い替えサイクルが長い製品のため「まだ使えるさあ」と古いテレビを大切に使い続けている方も多いのではないかな。

また、最近では、ワンセグ対応の携帯電話の普及や据え置き型テレビを必要としない家庭も増えているようだ。のんびり屋さんが多いといわれている沖縄。今月のアナログ放送終了後に「あい。テレビが映らんさあ」とびっくりされないようご注意ください！

(海邦総研人材開発部／安田ひろみ)



【観光消費額単価(県外宿泊客)】

81,376円

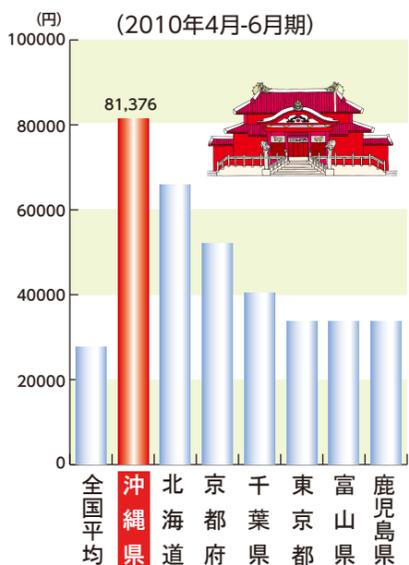
夏本番となり、本格的な観光シーズンを迎える沖縄。訪れる観光客の消費額も気になるところだ。

観光庁「観光入込客統計」によると、2010年4月—6月期に県外からの宿泊客1人当たりの消費額が最も高かったのは沖縄県で81,376円。入込客数と掛け合わせた全体の観光消費額でも943億円で、堂々の全国1位となっている。1人当たりの平均宿泊数も全国トップクラスの水準となっており、平均滞在日数も長いという効果もみられるようだ。

独特な文化をみて廻る周遊や、豊かな自然体験などが代表的な沖縄観光となっている。しかし、消費額をあげるためには、時間をかけて楽しんでもらう仕組み作りや、新たな観光メニューの開発が必要となってくる。

特色ある魅力を活かして、何度でも訪れたいと思わせる観光地へと発展することを期待したい。

(海邦総研事業支援部／國吉真吾)



【小売業の来客用駐車場の無い事業所の比率】

52.7%

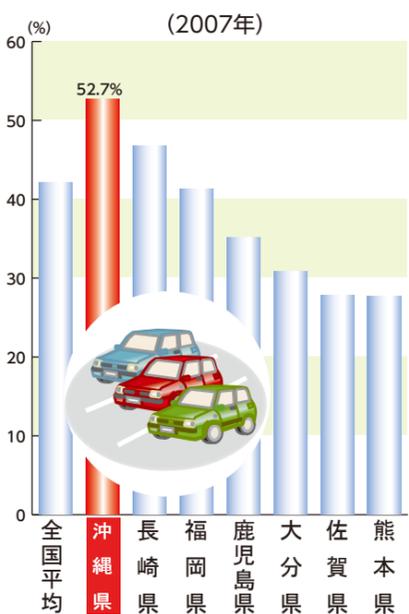
モノレールができ、交通手段は幾分選びやすくなったものの、引き続き車社会が進展している沖縄。買い物等をする時に荷物を積める車は便利であり、活躍する機会も増える。しかし買い物に行く店には、駐車場は決して多くは用意されていないようだ。

経済産業省の「2007年商業統計調査」によると、県内における小売業の来客用駐車場が無い事業所は7,894箇所ある。全事業所で見た比率は52.7%になり、全国では5番目に高く九州ではトップだ。

小売業が立地する地区別にみると、やはり市街地型商業地区やオフィス街地区で不足が見られる一方で、ロードサイド型商業地区や工業地区では比較的充実しているようだ。

市街地では既存店の撤退後、駐車場の無い店が増えたと考えられる。消費者としては駐車場が有るにこしたことはないが、狭い沖縄でそこまで贅沢も言えないだろう。

(海邦総研事業支援部／比嘉明彦)



【プリン購入金額】

868円

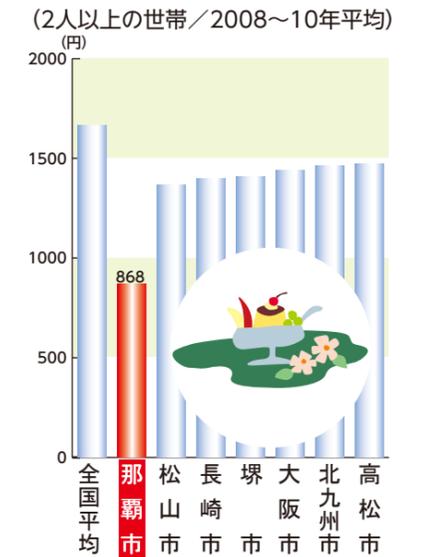
大人から子どもまで幅広い層に愛されている代表的なスイーツのひとつプリン。日本に伝わったのは江戸時代後期～明治の初期といわれている。

総務省「家計調査」によると、那覇市のプリン購入金額は世帯あたり868円。これは全国でも最も低い水準で、1000円を切っているのは那覇市だけだ。

全国的には、お取り寄せ商品としても人気があるプリン。マンゴー、カボチャ、黒ごまや抹茶、チーズなど様々な食材が使用されている。とろりとしたものから弾力のあるものまで、その食感も様々だ。

プリンイベントなども開催されていて、毎年、次々と新しいプリンが生まれてくる。数が多いと選ぶのにも一苦労だが、まだ、味わたったことのない美味しさが待っているかも…と思うと食わずにはいられない？

(海邦総研経営企画部／新里治史)



【1万世帯当たりのピアノの保有台数】

98台

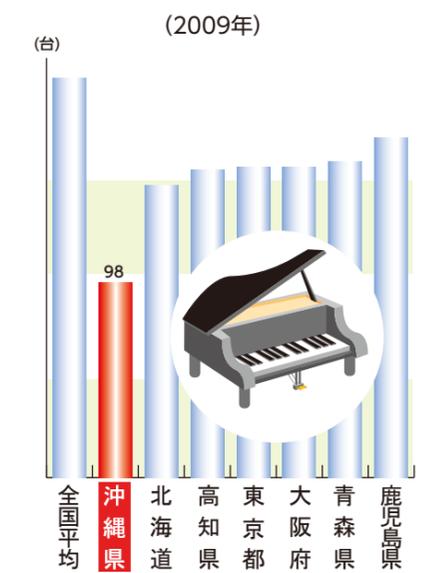
ねこふんじゃった、ねこふんじゃった…指一本でピアノの鍵盤をたたきながら口ずさんだ事がある人も結構いるはず。

総務省「平成21年全国消費実態調査」によると、沖縄の1万世帯当たりのピアノの所有台数は98台と全国最下位で全国平均の約半分となっている。

数十万円はしたピアノも、今では安いものなら数万円で買えるようになった。巷には数千円で買える電子ピアノも販売されている。

ただ、ピアノはかなり大きなものなので、沖縄の様にアパートなどの集合住宅が多い地域では、設置場所の確保がネックになるのだろうか？沖縄はジャズやロック、エイサーなど色々なジャンルの音楽・芸能活動が盛んで、他地域よりも音に触れる機会が多い地域だ。一戸建て住宅建設がどんどん減っている沖縄ではピアノは、さらに高嶺の花となるのか…。

(海邦総研経営企画部／中山禎)



おきなわデータ算歩 けーざい100

「データ算歩」は県内でよく話題になる事柄を具体的に数字で裏付けて紹介しようと試みたもので、経済・数字の世界をまさに算(散)歩感覚で楽しみましょうという内容です。

「食生活」「生活・消費」「産業」「住環境」など八項目に分類。漫画やグラフを使い、見開き2ページで1項目を説明しています。アイス・クリームやビールの購入額が全国一低いなど意外と思える数字も紹介。読みたい項目から読めるよう工夫しています。

沖縄県内各書店やインターネットでもご購入いただけます。沖縄けーざいを易しく知りたい、興味のある、という方に特にお勧め!

<http://www.kaiho-ri.jp>

